

文京区補助金等チェックシート

所属 保健衛生部予防対策課

1 補助金の名称等

26年度調査

補助金の名称	文京区精神障害者地域活動支援センター運営費補助金								
根拠規定等	文京区精神障害者地域活動支援センター運営費補助金交付要綱								
創設年月	平成	18	年	10	月	経過年数 〔自動計算〕	7年	終了予定年月	
直近の見直し年月	平成	26	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	0年		
見直しの内容	補助交付額に人件費の定期昇給分が追加された。								
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	実施計画事業番号			
	6衛生費	1保健衛生費	4障害者自立支援事業費	3地域生活支援事業	1地域生活支援事業				
補助金の種別	<input type="checkbox"/> 奨励的補助 <input checked="" type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給								

2 補助金の概要

補助目的	精神障害者の地域社会における生活及び自立を促進する。						
補助事業等の内容	(1)基礎的事業(通所による創作的活動や生産活動の機会の提供等) (2)機能強化事業(社会適応訓練や専門職員の配置による医療・福祉・地域との連携強化や普及啓発等)						
補助対象経費の内容	施設を運営するために必要な職員の給料、各種手当、共済費、報償費、各所修繕費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料・賃借料、備品購入費、負担金						
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他						
	[特定の相手方に補助している場合は具体的に記入] 社会福祉法人復生あせび会、非特定営利法人エナジー本舗、公益財団法人東京カリタスの家						
補助金の算出	<input checked="" type="checkbox"/> 定率 (補助率 国1/2、都1/4上限あり他) <input type="checkbox"/> 定額 (補助額)						
	<input type="checkbox"/> 補助単価 (補助単価 単位) <input type="checkbox"/> 規定なし <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	[その他の場合は具体的に記入] 施設の類型ごとに異なる基準額に人件費定期昇給分を加えた額。 上記の金額から、国・都の障害者総合支援事業費補助金分(国1/2、都1/4)、及び東京都障害者施策推進区市町村包括補助事業補助金分(施設の類型により基準額の1/2又は10/10)を除いた分を区が負担する。 [定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入]						
公募の状況	非公募						
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書(写し) <input checked="" type="checkbox"/> 契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (事業報告書)						
補助・単独の状況	<input type="checkbox"/> 区単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)		負担割合	区	国	都	補助対象者
			上乗せの内容・理由				

3 補助金の交付の適否に関する基準〔A:適合している、B:適合していない、C非該当〕

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	A	精神障害者が増加している中で、精神障害者が日中を過ごし、相談や交流できる場は必要であり、適合している。
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	A	基本構想及び障害者計画に掲載されている事業を推進するためのものであり、適合している。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	A	専門性が高いため、区が補助すべき事業である。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	A	精神障害者の日中の居場所が確保できなくなる。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	A	該当事業者に対し申請案内を送付しているため、確保されている。
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	A	要綱に規定する手続きにより、適正に審査した上で、決定している。
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	A	区が代替施設をつくるのは難しい。
	補助金の交付による効果が認められるか	A	認められる。(ほぼ当該補助金のみで運営されている。)
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	A	認められる。(ほぼ当該補助金のみで運営されている。)
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	A	精神障害者であれば利用可能であるため、還元されている。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	A	文京区精神障害者地域活動支援センター運営費補助金交付要綱に基づく適正な執行により、抵触していない。
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	A	申請時の事業計画書及び清算時の事業実績報告書の確認により、合致している。
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	A	事業実績報告書(決算書含む)の確認により、適正である。

4 交付実績

(件、千円)

項目	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
交付(見込み)件数	3	3	3	3
決算(予算)額	53,050	53,049	54,041	54,832
国庫支出金	7,881	7,627	8,851	6,227
都支出金	17,613	17,486	18,097	16,786
その他	0	0	0	0
一般財源	27,556	27,936	27,093	31,819
26年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)	(1)社会福祉法人復生あせび会 年間開所日数:323日、年間延べ利用者数:8400人、一日平均利用者数:26.0人 (2)非特定営利法人エナジー本舗 年間開所日数:242日、年間延べ利用者数:5043人、一日平均利用者数:20.8人 (3)公益財団法人東京カリタスの家 年間開所日数:241日、年間延べ利用者数:3119人、一日平均利用者数:12.9人			

5 課題及び今後の方向性

精神障害者が日中に過ごす場として定着しており、今後も継続していく必要がある。また、日中活動の場としての基礎的事業の他、相談支援や関係機関との連絡調整を担うなど、機能強化事業の必要性も高く、人手不足が懸念される。